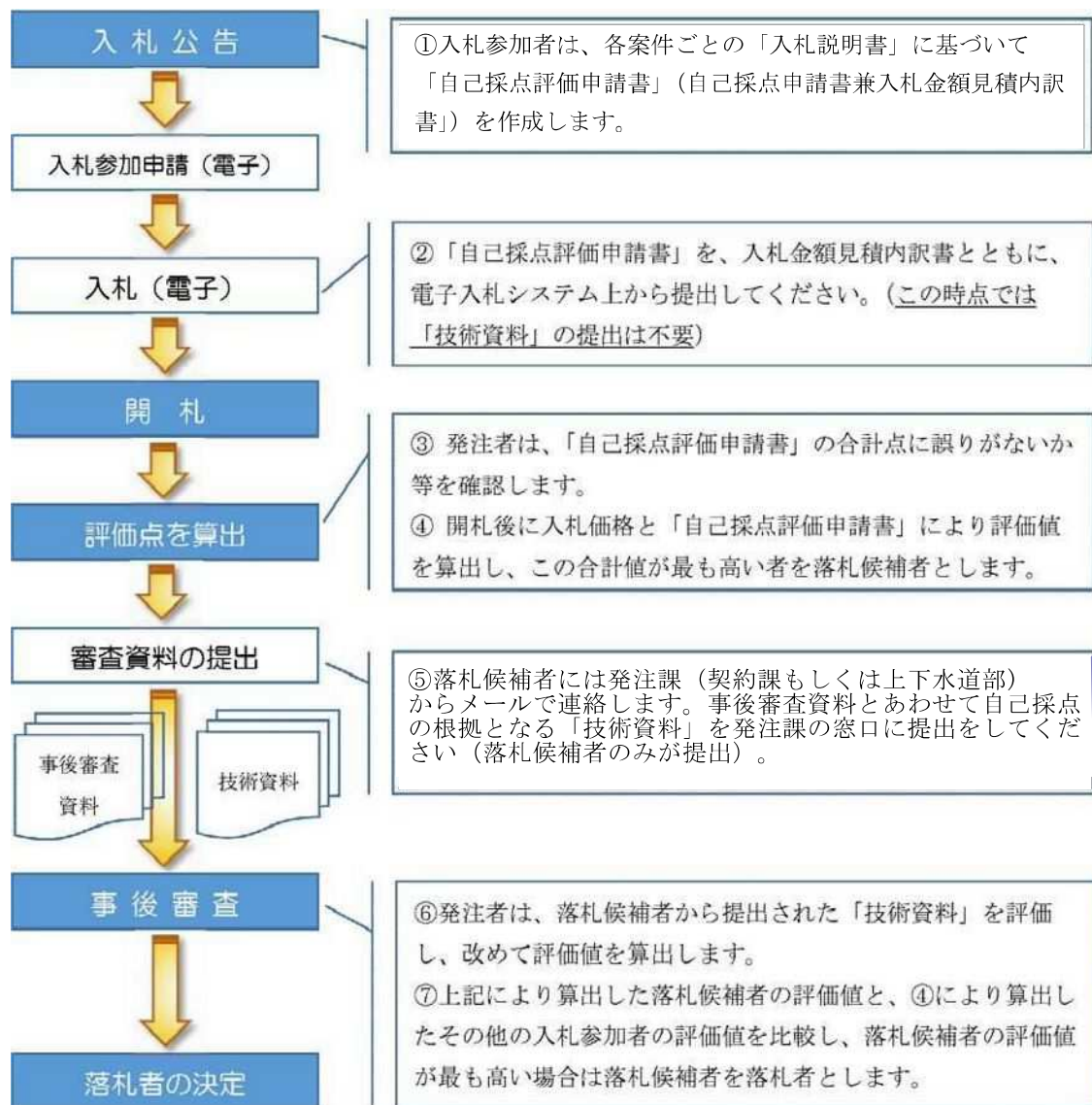


春日部市総合評価方式（自己採点型）のQ&A

【自己採点型全般】

Q1：手続きが良く分からないのですが？

A1：以下に、手続きの流れを示しますので参考にしてください。



⑧なお、技術資料の評価により落札候補者の評価値が変更となり、他の入札参加者の評価値を下回った場合は、新たな落札候補者を定めて上記の⑤以降の手続きを順次行っていきます。

Q 2：提出された自己採点結果と入札価格だけで落札者が決まるのですか？

A 2：総合評価の自己採点と入札価格で落札候補者が決まりますが、その後に事後審査書類と自己採点の根拠となる技術資料を提出してもらい、これを評価した上で、落札者を決定します。

Q 3：評価値の最も高い者が複数いる場合はどうするのですか？

A 3：電子入札システムの電子くじにより落札候補者を決定します。

Q 4：評価値の最も高い者が低入札だった場合はどうするのですか？

A 4：「春日部市建設工事低入札価格取扱要綱」に基づく調査を行った後、問題がなければ落札候補者とします。

Q 5：手続きが複雑そうだが、入札参加者にとってメリットは？

A 5：落札候補者のみに自己採点の根拠となる技術資料を提出してもらいますので、落札候補者以外の方の事務は大幅に軽減されると考えています。

Q 6：この方式を導入すると公告から落札者決定までの時間も短縮されるのですか？

A 6：公告から落札者決定までの時間は、若干短くなると想定しています。しかし、落札候補者の総合評価自己採点に誤りがあり新たな落札候補者を定める必要が生じた場合は、これまでよりも時間がかかることもあります。このため、総合評価自己採点は入札説明書等を良く理解して記載し、誤りがないよう努めてください。

なお、記載にあたっては、埼玉県総合技術センターのホームページで「技術資料作成の手引き」が公開されていますので参考にしてください（春日部市総合評価方式活用ガイドラインは埼玉県のガイドラインに準拠しています）。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/b1013/sougouhyouka-gaidorain.html>

Q 7 : [1 / 3 失格基準] は自己採点評価申請書に基づき行われるのですか？

《 1 / 3 失格基準 》

技術評価の技術評価点が当該工事における技術評価点の最も高い入札参加者の 1 / 3 以下かつ技術評価点の順位が入札参加者の下位 1 / 3 以下である場合には「失格」とするもの。

A 7 : 自己採点型の総合評価では、1 / 3 失格基準は適用しません。

【自己採点評価申請書】

Q 8 : 自己採点は高めに申請した方が有利となるのですか？

A 8 : 仮に自己採点を意図的に高く申請して落札候補者となっても、提出された技術資料に基づき審査を行い、適正な評価値を発注者において算出しますので有利になることはありません。

なお、落札候補者となった者の自己採点に誤りがあり新たな落札候補者を定める必要が生じた場合は、改めて技術資料の提出を求め審査を行うため、落札決定までの時間が長くなってしまいますので適正な申請をお願いします。

Q 9 : 自己採点評価申請書はどのように提出するのですか？

A 9 : 「自己採点評価申請書」は、各案件ごとに、春日部市ホームページ上の公告の「総合評価自己採点申請書兼入札金額見積内訳書」欄に掲載してありますので、必ずそちらをダウンロードして使用してください。

また、こちらは内訳書のシートと同じファイルになっておりますので、入札時に電子入札システムにより、内訳書と併せて（同じファイルで）提出をしてください。

※この時点では、「技術資料」の提出は必要ありません。後日、開札の結果、落札候補者となった方に提出を求め（メールにて連絡します）、審査を行います。

Q 1 0：自己採点評価申請書は電子入札システム以外では受け付けないのですか？

A 1 0：春日部市公共工事等電子入札運用基準 7－1「紙入札による提出」の承認を得た場合については、システム以外の提出も可能です。提出期限内に入札書とともに持参してください。

Q 1 1：自己採点評価申請書を提出せずに応札した場合はどうなるのですか？

A 1 1：入札は無効として取り扱います。

Q 1 2：自己採点評価申請書はどのように扱われるのですか？

A 1 2：入札参加者から自己採点評価申請書が提出された後、

- ① 入札説明書で定めた評価項目以外の項目で採点を行っていないか
- ② 評価項目ごとに定めた配点を超える自己採点を行っていないか
- ③ 合計に誤りがないか

などを確認し、評価値を算出します。

Q 1 3：自己採点申請書の再提出はできるのですか？

A 1 3：入札書や総合評価の技術資料と同様に再提出は認めません。

Q 1 4：自己採点を間違えた場合のペナルティはあるのですか？

A 1 4：ペナルティは設けておりません。

Q 1 5：自己採点申請書の入札参加者欄を空白で提出してしまいました。どのように評価されるのですか？

A 1 5：入札参加者欄は、自己採点申請書にとって重要な部分です。入札参加者名が確認できない場合、入札を無効として取り扱います。

Q 1 6：自己採点申請書の自己採点欄を空白で提出してしまいました。どのように評価されるのですか？

A 1 6：自己採点欄が空白の場合は、その項目を0点として扱います。

【技術資料】

Q 1 7：施工実績に係る提出資料は「コリンズ竣工登録の写し」とあるが、具体的には何を提出すればよいですか。

A 1 7：「竣工登録工事カルテ受領書と工事カルテ」又は、「登録内容確認書」に記載されている、工事名・工事場所・契約金額・工期・発注者・受注者・類似の施工実績（工種・数量・施工条件・使用材料等）が確認できる部分を添付してください。

※H 2 1． 7 以前 竣工登録工事カルテ受領書と工事カルテ
H 2 1． 8 以降 登録内容確認書

Q 1 8：コリンズの写しだけでは類似の工事であることが分からない場合はどうすればよいですか。

A 1 8：当該工事の「請負契約書」と コリンズでは確認 できない部分の設計図書の写し（ 図面や数量総括表等）など、類似工事条件を確認できる書類を添付してください。

Q 1 9：コリンズ登録が無い場合はどうすればよいですか。

A 1 9：当該工事の「請負契約書」と設計図書の写し（図面や数量総括表等）など、類似工事条件を確認できる書類及び、工事完了が確認できる書類（「工事完成検査結果及び工事成績評定結果について（通知）」等の写しを添付してください。

Q 2 0：「技術資料」に記載する配置予定技術者は、3人まで定めることができますか？

A 2 0：落札候補者となった場合に提出する「技術資料」では、配置予定技術者を3人まで定めることができます。このため、自己採点申請書を作成するときも同様に3人まで想定できます。4名以上の配置予定技術者を記載すると失格となります。

なお、3人を想定して自己採点申請書を作成する場合は、この中で評価値の一番低い者の得点を記入してください。

※また、配置予定技術者を2名以上定めた場合は、配置予定技術者に係る「技術資料」は、その人数分必要となりますのでご注意ください

Q 2 1：応急修繕などによる除雪作業は、評価の対象となりますか。

A 2 1：評価の対象となるのは、単価契約及びその下請け契約（再委託（発注者の承諾を得たものに限る））です。

【技術資料の提出】

Q 2 2：自己採点型の「技術資料」は郵送で提出してもよいのですか？

A 2 2：技術資料は事後審査書類と一緒に発注課所へ持参するものとしています。開札後、落札候補者となられた方に連絡を差し上げますので、事後審査書類と併せて契約課（上下水道部発注の場合は上下水道部）の窓口まで提出をお願いします。

Q 2 3：落札候補者が提出する書類には代表者印が必要ですか？

A 2 3：入札時の提出、落札候補者となった後に提出する際、どちらにおいても自己採点申請書に代表者印は不要です。

Q 2 4：自己採点申請書に間違いがあったので、技術資料は正しいものを提出することは可能ですか？

A 2 4：技術資料は正しいものを提出してください。ただし、技術資料の評価は、自己採点申請書において評価項目ごとに行った自己採点を上限として評価します。このため、自己採点申請書の得点を超える技術資料を提出していただいても、評価値が上がることはありません。

Q 2 5：提出した技術資料に誤りや不備があることに気づいたが、資料の修正や再提出や追加提出は可能ですか？

A 2 5：技術資料提出後の資料内容の修正や再提出、追加提出は認められません。

Q 2 6：技術資料と入札参加資格等確認書類（事後審査書類）は同じ内容のものがあるが、両方に提出する必要があるのですか？

A 2 6：技術資料の評価と入札参加資格等確認書類（事後審査書類）の審査は別に行いますので、同じ内容でも両方に添付してください。

【一抜け方式について】（一抜け方式の対象となった案件のみ）

Q 2 7：総合評価方式（自己採点型）の案件のうち、「一抜け方式」となっているものがあるが、どのようにして落札者が決定されるのですか？

A 2 7：一抜け方式による入札は、あらかじめ公告上で、対象となる案件のグループ、及び落札決定順位等が定められており、上位の案件から順に落札候補者を決定していき、上位の案件で落札者となった者は下位の案件では失格となるというものです。

総合評価方式（自己採点型）の入札を一抜け方式とした場合、開札後に、落札候補者から提出された資料を基に「事後審査」と「技術資料の評価」を並行して行っており、入札参加資格を満たし、且つ、自己採点の点数の減点による順位の変動がなければ落札決定となります。

ただし、総合評価の自己採点の点数から減点があり、上位の案件で順位が変動した場合、下位の案件の順位でも順位の変動があり（上位の案件で落札候補者でなくなった者が、一抜けにより失格となった下位の案件で落札候補者となる場合等により）、一度落札候補者となった案件で落札候補者でなくなる場合がありますのでご注意ください。

※一抜け方式の案件については、公告のページに別紙として「一抜け方式による入札について」を掲載していますのでこちらも参照してください。

技術資料作成の例（入力方法等）を次項に載せていますので参考にしてください。

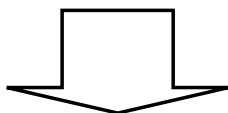
データの入力方法について

様式は「あり」「上記に該当しない」の選択方式を多く採用しています。

「クリーム色」のところに入力してください。入力の必要のないところは「グレー」になるので入力しないでください。

「上記に該当しない」を選択した場合、色は変わりません。その様式の入力作業は完了です。添付資料も不要です。

共通提出資料		社名情報	
社名変更・合併・分社			
○入札説明書の①「社名情報」に記載された日以降において、社名変更等の有無を記入してください。			
社名変更 合併 分社の有無	☐	社名変更	あり
	☐	合併	あり
	☐	分社	あり
	☐	上記に該当しない	
↑ 該当するものすべてに○			
(ありの場合)			
変更前 (会社名)			
合併前 (会社名)			



「あり」を選択すると、入力箇所の色が「グレー」から「クリーム色」に変わります。

共通提出資料		社名情報	
社名変更・合併・分社			
○入札説明書の①「社名情報」に記載された日以降において、社名変更等の有無を記入してください。			
社名変更 合併 分社の有無	☒	社名変更	あり
	☐	合併	あり
	☐	分社	あり
	☐	上記に該当しない	
↑ 該当するものすべてに○			
(ありの場合)			
変更前 (会社名)			
合併前 (会社名)			

自己採点申請書 ～自己採点方式の場合～

様式（自己採点申請書（兼落札候補者用提出書））

（入札参加者）欄が未記入の場合表示されます。

自己採点申請書
（兼落札候補者用提出書）

電子入札での提出時には日付の記入は必要ありません。

（入札参加者）の欄を記入してください。

評価項目選択型

（あて先）

令和 年 月 日
（電子入札での提出時には提出日の記入は必要ありません）

（入札参加者）

所在地 さいたま市浦和区〇〇 1-2-3

名称・商号

代表者名 代表取締役 〇〇 〇〇

連絡担当者 〇〇 〇〇

電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

下記工事について、総合評価自己採点方式に伴う。なお、内容については事実と相違ないことを誓約し

工事名： 総選加）〇〇〇〇整備工事

工事場所： 主要地方道〇〇線／〇〇市〇〇地内

未記入は無効になります。

入札説明書を確認し、該当する評価項目に〇が入力されているか確認します。提出様式と配点が表示されています。

発注者が記入します。工事名、工事場所を確認ください。他工事の様式をそのまま使用している場合は無効になりますので注意してください。

自社の自己採点の点数を入れてください。

赤字の〽は、入力の再確認が必要です。

大項目	評価項目	小項目	該当	配点	自己採点	配点様式	の自己採点
イ	企業倫理や信頼性等	（ア）入札契約に関する不当な強要行為等	〇	2	2	様式ア（ア）	
		（イ）総合評価の不履行	〇	1	1	様式イ（ア）	
		（ウ）カ（ア）カ（イ）に該当しない入札参加停止措置	〇	1	1	様式イ（イ）	
		（エ）難工事完了実績	〇	2	2	様式イ（ウ）	
キ	企業の技術能力	（イ）新製品・新技術の活用	〇	1	0	様式キ（ア）	
		（ウ）優秀工事表彰	〇	1.5	0	様式キ（イ）	
		（エ）ISO9001の取得	〇	1	0	様式キ（ウ）	
		（オ）登録基幹技能者の配置	〇	0.5	0	様式キ（エ）	
ク	配置予定技術者の技術能力	（カ）労働災害防止対策	〇	1	0	様式キ（オ）	
		（ア）技術者の専門技術力（ヒアリング）	〇	1	0	様式キ（カ）	
		（イ）当該工事の理解度・取組姿勢（ヒアリング）	〇	1	0	様式キ（ア）	
		（ウ）技術者の対応能力（ヒアリング）	〇	1	0	様式キ（イ）	
ケ	企業全体の業績等	（エ）保有する資格	〇	1	0	様式ク（エ）	
		（オ）優秀技術者表彰	〇	1	0	様式ク（オ）	
		（カ）継続教育（CPD）への取組	〇	1	0	様式ク（カ）	
		（イ）技術者の専門技術力（ヒアリング）	〇	1	0	様式ク（イ）	

「総合評価方式に係る入札説明書」の評価項目を確認し、

「自己採点申請書（兼落札候補者用提出書）」の「該当」欄に〇が入力されているか確認する。

「自己採点申請書（兼落札候補者用提出書）」から作成する「様式」を確認する。

「入札説明書」に記載された、「添付資料」を確認する（不要な資料は付けない！）。

提出前に必ず確認してください。

※落札候補者になったら

落札候補者が提出する落札候補者用提出書は、提出済みの「自己採点申請書」の記載内容と同一のものに提出日を記入し、提出してください。

※ エクセルの「計算方法の設定」が「自動」になっていない場合は「自動」に設定してください。



コリンズ竣工登録の写し（例1 竣工登録工事カルテ受領書と工事カルテ）

〇〇建設(株) 限

登録日 平成 年 月 日

建設業許可番号: CORINS登録番号
00000000-0000-0000

受付番号: 00000000

竣工登録工事カルテ受領書

貴社から提出がありました工事カルテを受領いたしました。下記は、工事カルテの抜粋です。

財団法人 日本建設情報総合センター
理事長 豊田 高司

記

登録義務の有無: 義務付け登録

工事件名: 〇〇建設工事

請負金額: 15,750,000円(税込)

工期: 平成20年8月1日 ~ 平成21年7月31日

工事発注機関: 埼玉県
〇〇県土整備事務所

施工場所: 〇〇市大字〇〇地内

工事の業種: 土木一式工事

工事種別: 一般土木工事

工程、工法・型式: カルバート工 路盤路床工
コンクリート擁壁工
アスファルト舗装工

請負会社名: 〇〇建設(株)

技術者

役別	氏名	監理技術者証番号	役別	氏名	監理技術者証番号
現場代理人	埼玉 太郎	000000000			
現場監督	埼玉 太郎	000000000			

受領書の発行者押印(写)の分かる部分を添付してください。

工事名、請負金額、工期、発注機関、施工場所がわかる部分を提出してください。

受注者がわかる部分を提出してください。

*** 技術データ ***

6.2. アスファルト舗装工事

2.3.0 アスファルト舗装工

1-1. 工法

1.5 排水性舗装

2-1. 構造規格

1) 規模

a. 延長

(m)

b. 舗装面積

舗装施工面積 2500(m²)

1-2. 工法

2-2. 構造規格

1) 規模

a. 延長

(m)

b. 舗装施工面積

(m²)

入札説明書の「類似工事」の条件を満たすことがわかる部分を添付してください。

入札説明書の「類似工事」の条件を満たすことがわかる部分を添付してください。

添付は必要なページのみとし、不要なページは添付しないでください。
(工事カルテ全ページを添付する必要はありません。)

施工場所規制等

施工地域

夜間工事の有無

市街地地域(DID)

有り

交通規制

交通規制の有無

有り

交通規制道路の種類

規制道路の交通量

規制車線数

交通の確保手段

入札説明書の「類似工事」の条件を満たすことがわかる部分を添付してください。

コリンズ竣工登録の写し（例2 登録内容確認書）

交付年月日 年 月 日
登録年月日 年 月 日
登録番号
照会番号

登録内容確認書 (工事実績)

工事カルテは確認書でも提出
できます。

〇〇建設(株)

御中

以下の内容は一般財団法人日本建設情報総合センターに工事実績として登録されていることを確認しました。

処理区分 竣工登録
履歴情報 受注登録 年 月 日
竣工登録 年 月 日

登録内容

工事実績データ（契約データ）

登録番号			
変更事由発生年月日	西暦	年	月 日
自社が請け負った一体的先行契約工事 のコリンズ登録番号			
コリンズ登録義務の有無	有り		
件名			
対象水系・路線名称	一般国道	号	
請負金額	円		
工期	西暦	年 月 日	～ 西暦 年 月 日
発注機関情報			
発注機関名	埼玉県 県土整備事務所		
郵便番号			

添付は必要なページ
のみとし、不要なペ
ージは添付しないで
ください。（工事カ
ルテ全ページを添付
する必要はありません。）

工事名、請負金額、工期、発
注機関、施工場所がわかる部
分を提出してください。

ISO対象工事であるかどうか	ISO対象工事ではない
請負者 企業ID 請負者名称 請負者名称(カナ)	〇〇建設(株)

受注者がわかる部分を提出し
てください。

夜間工事の有無	有り
交通規制 交通規制の有無 交通規制道路の種類 規制道路の交通量 規制道路の長さ	有り 国道 25,000以上～50,000未満 相対式線形 1 / 全長約 4

入札説明書の「類似工事」の
条件を満たすことがわかる部
分を添付してください。

技術者情報1 役割 所属企業の許可番号 所属企業名 建設実績技術者ID 氏名 氏名(カナ) 生年月日	現場代理人 国土交通大臣許可 第 号 西暦 年 月 日
技術者情報2 役割 所属企業の許可番号 所属企業名 建設実績技術者ID 氏名 氏名(カナ) 生年月日	監理技術者 国土交通大臣許可 第 号 西暦 年 月 日

入札説明書の「類似工事」の
条件を満たすことがわかる部
分を添付してください。

アスファルト舗装工事 アスファルト舗装工 工法毎の延長・施工面積 工法 工法毎の延長 工法毎の舗装施工面積	排水性舗装 m m2
--	------------------

発行年月日 年 月 日

一般財団法人日本建設情報総合センター

理事長



確認書の発行者押印(写)のわ
かる部分を添付してください。

契約書の（例）

埼玉県建設工事請負契約書

- 1 工 事 名 ○○○○工事（△△工区）
- 2 工 事 場 所 一般県道○○線／○○市大字、○○地内
- 3 工 期 平成20年 8月 1日から
平成21年 7月31日まで
- 4 請負代金額 金15,750,000円
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額) 金750,000円
- 5 契約保証金 契約金額の10分の1以上
- 6 前 払 金 金12,600,000円
- 7 部分払の請求回数 1回以内
- 8 その他特定条件

上記の工事について、発注者埼玉県と受注者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、別添の約款によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

本契約の証として本書2通を作成し、発注者及び受注者が記名押印の上、各自1通を

平成20年8月1日

発注者 ○○県土整備事務所

○○○○○ 印

受注者 ○○建設(株)

○○○○○ 印

工事名、請負代金額、工期、発注機関、施工場所がわかる部分を提出してください。

契約書や数量総括表などから、条件を満たすことが確認できない場合は、必要に応じて数量の入った図面等を添付する。

発注者、受注者が、わかる部分を提出してください。

数量総括表

種別	計算式	単位	数量
舗装工			
排水性舗装工		m ²	2,500.0
上層路盤工		m ²	2,500.0
下層路盤工		m ²	2,500.0

入札説明書の「類似工事」の条件を満たすことがわかる部分を添付してください。

工事大要

延長L=500m

排水性舗装工

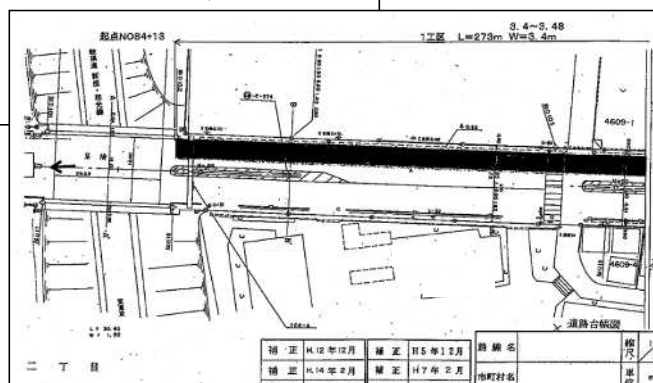
A=2,500m²

上層路盤工

A=2,500m²

下層路盤工

入札説明書の「類似工事」の条件を満たすことがわかる部分を添付してください。



工事完了が確認できる書類の（例）

(標準請負契約約款第31条関係)
(土木工事成績評定要領第7条関係)
様式2

○ 整 第 ○○○ 号
平成21年 7月31日

○○建設（株） 様

発注者 ○○県土整備事務所長 印

工事完成検査結果及び工事成績評定結果について（通知）

下記工事は、完成検査の結果合格したので、埼玉県建設工事標準請負契約約款第31条第2項の規定により通知します。
また、埼玉県土木工事成績評定要領第7条第1項の規定により工事成績評定結果を併せて通知します。なお、この結果に疑問がある場合は、この通知を受けた日から14日（閉庁日を含む）以内に書面により説明を求めることができます。

記

工 事 名	○○○○○工事（△△工区）
工 事 場 所	一般県道○○線／○○市大字○○地内
工 期	平成20年 8月 1日 から 平成21年7月31日まで
請負代金額	金 15,750,000 円

工事成績評定結果

項目	細別	細目別評定点
1. 施工体制	I. 施工体制一般	／ 2.3 点
	II. 配置技術者	／ 2.9 点
	I. 施工管理	／ 13.1 点

(標準請負契約約款第31条関係)
様式第10号(2)
(監施工事成績評定要領第7関係)
様式第35号(1)
(監施工事成績評定結果通知公表要領第2条関係)
様式第1号

第 号
平成 年 月 日

様

発注者 印

工事完成検査結果及び工事成績評定結果について（通知）

下記工事は完成検査の結果合格したので、埼玉県建設工事請負契約約款第31条第2項の規定により通知します。
なお、工事成績評定結果についても併せて通知します。この通知内容の説明を希望する場合は、この通知を受領した日から起算して14日以内（「休日」を含む。）に限り受け付けます。

記

工 事 名				
工 事 場 所				
工 期	平成 年 月 日から	平成 年 月 日まで		
請 負 代 金 額	金 円			

工事成績評定結果

項 目	細 別	細目別評定点	備 考
1. 施工体制	I. 施工体制一般	／ 3.3 点	
	II. 配置技術者	／ 4.1 点	
2. 施工状況	I. 施工管理	／ 13.0 点	
	II. 工程管理	／ 8.1 点	
	III. 安全対策	／ 8.8 点	
	IV. 対外関係	／ 3.7 点	
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	／ 14.9 点	
	II. 品質	／ 17.4 点	
	III. 出来ばえ	／ 8.5 点	
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応	／ 7.3 点	
5. 創意工夫	I. 創意工夫	／ 5.7 点	
6. 社会性等	I. 地域への貢献度	／ 5.2 点	
7. 法令遵守等	(減点のみ)	— 点	
細目別評定点合計		／ 100 点	

(A4版)